1. 校章について



水清き江戸川の地区を代表する鳥、それは白鷺である。田園地帯から、活力あふれる産業・住宅地へと変貌発展しつつある江戸川区にとって、白鷺は古き田園の思い出にとどまるだけでなく人々の心をつなぐ「愛情」と「信頼」のシンボルである。

東京都立白鷺特別支援学校の校章は、"学"を囲む2羽の白鷺で、多くの人々の信頼と愛情に支えられた学校の姿を表わし、また、白鷺の"純白"と水面の"蓮"は子供達一人一人が純真、誠実に生き、世の光となってほしいという願いをこめたものである。

2. 都立白鷺特別支援学校校歌(平成20年9月1日より)

作詞 田中則行作曲 佐藤 眞

美しい花 木々の緑よ 厳しさこえて 光り輝く 勇気をもって 前に進もう 自ら学び 自ら進む たくましく生きる 白鷺 白鷺 我らのカ

優しい笑顔 友のまなざし 競い励まし きずなは固く 心を開き 語り合おう 互いに学び 互いに進む 豊かに生きる 白鷺 白鷺 我らの誇り

広い青空 恵みの大地 あしたを築く 命はぐくむ 自分を信じ 道をひらこう 楽しく学び 楽しく進む 自分らしく生きる 白鷺 白鷺 我らの母校



校歌の内容について

- 1. 「花と緑の江戸川」をイメージし、たくさんの花や木々の緑が、厳しい季節や天候を乗り越え光り輝いている。人生の様々な困難に突き当たっても、勇気をもち一歩進むことで、夢や未来が拓き、一人一人が輝いていく。つらいことがあっても自分から進んで様々なことを学ぶことで壁を突き破り、人生をたくましく生き抜いて欲しいという趣旨である。
- 2. 多くの人々の愛に包まれて成長してきた生徒たち。友人と競い合い、励まし合う中でお互いの絆は一層固くなっていく。自立と社会参加に向けて、友だちや先生方、地域の方々などと力を合わせるとともに、心を大きく開いて語り合い、支え合って、心豊かに共に生きる力を養って欲しいという趣旨である。
- 3. 広大な自然に抱かれ誕生する生命。悠久の時が流れる。その中にあって、かけがえのない一つ 一つの生命が個性豊かに成長していく。それぞれの生命はそれぞれの役割を果たしながら、明日 の社会を築いていく。自分を大切にし、自分を信じ、自分の道は自分で切り開き、なによりも人生 を楽しみながら生きて欲しい。そうすることで、他の何者でもない「自分らしさ」が出てくる。自分らし く輝き生きることができる。そして、今と未来社会の発展に貢献して欲しいという趣旨である。